

---

## 海岸工学論文集（第 51 巻）原稿執筆要項

---

海岸工学論文集の体裁を統一し、質を高く保ち、また査読・編集・印刷を迅速に行うためには執筆者の皆様の協力が不可欠です。本資料を熟読し、指示に正確に従って原稿をご用意頂くようお願い申し上げます。

海岸工学論文集は、原稿執筆者から原稿文字データをフロッピーディスク（FD）または CD-R にて提出して頂き、電算写植組版システムで論文集紙面の製作・印刷を行います。また査読・編集・印刷業務のために、完成原稿とほぼ同じ形式での原稿提出を義務づけています。

本執筆要項に沿った文書ファイルは海岸工学委員会のウェブページ

<http://www.jsce.or.jp/committee/cec/>

に掲載されていますのでご利用下さい。

(社)土木学会・海岸工学委員会

---

## 本資料の内容

---

### 原稿執筆要項

原稿の作成  
 題目 著者 論文要旨  
 見出し  
 数式  
 表 図 写真  
 参考文献（書き方と本文での引用）  
 単位表示

### 提出について

提出期日と提出先  
 提出物について  
 FD 等の提出と内容

### その他

論文集著者負担金 別刷  
 校正  
 問い合わせ

---

## 原稿執筆要項

---

### < 原稿の作成 >

原稿はワードプロセッサ等で作成して下さい。原稿には A4 用紙を使用し、文章のほか、適切な大きさの表、図、写真なども貼り込んで下さい。

原稿の提出時には、A4 サイズの原稿およびその写しあわせて 3 部とこれを B5 サイズの用紙に縮小（縮小率 87%）したもの 1 部を提出して頂きます。

B5 に縮小した原稿は海岸工学論文集の刷り上がりサイズと同じです。これは第 2 次査読の時に、図、写真などの大きさ、これらに含まれる文字、線などの大きさの適切性を調べるのに用います。

提出物についての詳細は「提出物について」をご参照下さい。

原稿の文字データ（アスキー形式）をフロッピーディスク（FD）または CD-R にて提出して頂きます。詳細は「FD 等の提出と内容」の項を参照下さい。

提出された原稿、FD や CD-R は返却致しません。

原稿 1 編の長さは 5 ページ以内とします。超過は認められません。

1 ページあたり 25 文字 47 行の 2 段組みで作成して下さい。

数字と欧文にはすべて半角文字を使って下さい。

句読点は、全角ピリオド(. ), 全角カンマ(, )を使って下さい。

特殊な記号、文字は植字がないこともありますので、原稿に赤字で注記して下さい。またローマ字、アラビア数字、ギリシャ数字、上ツキ、下ツキ、大文字、小文字などには紛らわしいものがありますので、これらも赤字で明確に注記して下さい。

本文中や図・表中の年代には西暦を使ってください。

---

### ＜ 題目 著者 論文要旨 ＞

原稿の1ページ目には「論文の題目」、「著者名」、「論文要旨(250～300字)」を記述します。これらの記述には11行分のスペースを割り当てます。

著者の会員種別、所属等は脚注に記します。書式は下記の例に従って下さい。

「例」

\*           フェロー 工博 ○○大学教授大学院○研究科○○専攻  
\*\*           (非会員空欄) ○○○ (株) ○○部長、○○課長  
\*\*\*         正会員 工博 ○○大学教授○学部○○○学科  
\*\*\*\*       学生会員 修(工) ○○大学大学院○研究科○○○専攻  
\*\*\*\*\*    正会員 ○○県○○部長、○○課長  
\*\*\*\*\*    正会員 ○○省○○局、○○課長

なお、独立行政法人○○研究所などは「(独法) ○○研究所」と略記下さい。

---

論文要旨の第一義的目的は、読者に論文の内容を明瞭かつ簡潔に知らせ、本文を読むか否かの判断を助けることにありますので、問題提起とその解決手段・方法および得られた結果がわかるように執筆して下さい。

論文要旨は250～300字の範囲で作成して下さい。論文要旨の最終的な仕上がりは本文より1ポイント小さい7ポイントで5行(60字/行)となります。

---

1ページ目のレイアウト例は海岸工学論文集第50巻の掲載論文を参照してください。またサンプル文書ファイル(MS-WORD形式)を海岸工学委員会のウェブページに用意してあります。

---

### ＜ 見出し ＞

「章」、「節」、「項」の見出しは、下記に統一します。

1.           - 章
- (1)       - 節
- a)      - 項

なお、「章」の見出しは2行分と換算して下さい。

---



---

### ＜ 数式 ＞

数式は多くのスペースを必要とするのでご注意ください。特に分数式または式が連続する場合にはスペースを相当取りますのでご注意ください。式を必要以上に詰めないようにして下さい。

数式もワードプロセッサ等による作成を原則としますが、明瞭に書かれた手書き原稿も受理します。

数学記号、単位記号、量記号も原則として1文字を1字分と換算して下さい。カッコなどの記号類、下ツキ、上ツキなどの添字も各々1字と換算して下さい。

---

特殊な記号、文字は植字がないこともありますので、原稿に赤字で注記して下さい。また複雑な式の場合には、上ツキ、下ツキ、大文字、小文字なども赤字で明確に注記して下さい。

本文中での式の引用にはカッコ書きで、例えば「式(1)」などと表記してください。

---

### ＜ 表 図 写真 ＞

図、あるいは図や特殊な記号などを含む表は、そのまま製版に供用できるものを作成して下さい。

著者の責任において、線、図、文字、符号など、すべてについて完全な図や表をA4用紙に作成して下さい。不鮮明、不完全なものは受け付けません。

特殊な記号を使用しない表は電算で組みますので、明瞭な手書きの表も受理します。

写真は手札程度以上のものをA4用紙に貼って下さい。

表、図、写真の原版を提出する際にはその余白に「論文受付番号(採択通知に記載)、論文名(略記可)、著者名(略記可)」を明記して下さい。

図、写真などには縮尺の指示が必要です。図、写真の縮尺は論文出版時のサイズに換算して「左右何cm」と原版の余白に記入して下さい。B5サイズに縮小した原稿上の図、写真のサイズがほぼこの縮尺に相当します。

---

縮尺後の最大寸法は、左右 14.5cm 以下、天地 21cm 以下（刷り上がり 1 ページ分に相当）とします。資料-1 を参照して下さい。

原図、原写真を 1/5 より小さく縮小することは出来ません。縮尺指定時にご注意ください。

原図面内の文字の大きさは縮尺後に高さが 1.5mm 以上となるようにして下さい。なお、縮尺後に文字が小さ過ぎる場合は書き直しが必要となります。

原稿作成の際には、表、図、写真をその原稿に適切なサイズで原稿内にレイアウトして下さい。ただし、表、図、写真の原版は、原稿に貼り付けしないで下さい。原稿には原版のコピーを貼り付けて下さい。

表、図、写真の縮尺と対字数換算については資料-1 を参照して下さい。これは写植組み上り寸法(字数、行数)を示したものであり、表、図、写真の対字数換算と挿入箇所の余白の算出はこれにより行って下さい。

資料-1 の B 図では"C"の余白が出ていますが、B 図は片段中央に挿入しますので"C"の箇所には原稿を書き込めません。D 図と"E"との関係も同じ扱いになります。

図の縮小率の算出にあたっては、次の点に十分注意して下さい。左右の縮小率と同じ比率で天地も縮小されます。天地寸法の算出に誤りがあり、原稿用紙の必要行数の確保がなされていない場合には、左右の寸法指示を無視し天地で処理する場合があります。この場合には希望より小さい図面になります。

表、図、写真の番号および説明文の上・下は各 1 行空けて下さい。このことは、表、図、写真の縮尺寸法を考える際に考慮して下さい。

番号および説明文は、図や写真の場合はその下に、表の場合はその上に書いて下さい。

表、図、写真の枝番号はカッコ書きで、例えば「図-3(a)」として下さい。（「図-3a」などとはしないでください。）

#### < 参考文献の書き方 >

引用した文献は本文末にまとめて記載して下さい。

参考文献の最終的な仕上がりは本文より 1 ポイント小さい 7 ポイントとなります。

記載順は、先ず和文文献を著者名のアイウエオ順に、ついで欧文文献を著者名のアルファベット順に、いずれも刊行年の若い方からとして下さい。

文献は「著者名(発表年): 論文名(単行本の場合は書名)、雑誌名、巻号、(単行本の場合は発行所)、ページ」という書式で記入して下さい。2 行以上になる場合は、2 行目以降を 2 マス下げて下さい。

和文文献の著者名は単名、連名いずれの場合も姓・名を記して下さい。

欧文文献の著者名は、最初の著者のみ姓・イニシアルの順とし、次の人からはイニシアル・姓の順にして下さい。欧文雑誌、会議録の論文集名は第 1 語と固有名詞の最初の 1 文字のみ大文字として下さい。斜体は用いないで下さい。

欧文の単行本の書名は第 1 語と全ての主要語(接続詞・前置詞・冠詞を除く)の最初の 1 文字を大文字として下さい。

巻号のある雑誌で号ごとにページが振り直されている場合には号数も書いて下さい。巻がなく号のみのものは「5 号」、「No.5」のように書いて下さい。

ページ数は、雑誌の場合、論文の最初と最後のページ(pp. xx - xx)を書いて下さい。単行本および報告書では総ページ数(xx p.)または引用ページ(p. xx, pp. xx - xx)を書いて下さい。

ページ数の、例えば「pp. 145 - 150」という場合の「-」には、半角文字のハイフンを使って下さい。

単行本の場合には、発行所名をも記載して下さい。

刊行年は西暦で統一して下さい。

雑誌名等には適宜略称を用いてもかまいません(略称例):

第 23 回海岸工学講演会論文集

→ 第 23 回海講論文集

海岸工学論文集, 第 36 巻 → 海工論文集, 第 36 巻

港湾技術研究所報告 → 港研報告

港湾空港技術研究所報告 → 港空研報告  
 土木研究所報告 → 土研報告  
 国土技術政策総合研究所 → 国総研報告  
 Journal of Fluid Mechanics → J. Fluid Mech.  
 Coastal Engineering in Japan  
     → Coastal Eng. Japan (あるいは CEJ)  
 Proceedings of the 15th International Conference on  
 Coastal Engineering, ASCE  
     → Proc. 15th Int. Conf. Coastal Eng., ASCE  
     (あるいは Proc. 15th ICCE)

#### 参考文献の記載例：

岡安章夫・鈴木崇之(1998)：砕波帯内の 3 次元乱れ特性に関する実験的研究，海岸工学論文集，第 45 巻，pp.123-130.  
 合田良実 (1975)：浅海域における波浪の砕波変形，港研報告，14 巻，3 号，pp.59-106.  
 土木学会編 (1985)：水理公式集，pp.479-552.  
 堀口孝男・中道峰夫 (1976)：多孔壁式防波堤の消波機能と波力，第 23 回海講論文集，pp.89-94.  
 本間 仁・安芸皎一 (1962)：物部水理学，岩波書店，660p.  
 Bijker, E. W., J. P. Th. Kalkwijk and T. Pieters (1974): Mass transport in gravity waves on a sloping bottom, Proc. 14th ICCE, pp. 447 - 465.  
 Chakrabarti, S. K. (1984): Steady and oscillating drift on floating objects, Proc. ASCE, Vol.106, WW2, pp. 205 - 228.  
 Coastal Engineering Research Center (1984): Shore Protection Manual, U.S.Army Corps of Engrs., U.S.Govt. Printing Office, Vol. I, pp. 205 - 228.  
 Phillips, O. M. (1958): Comments on a paper by Dr. Cox, J. Mar. Res., Vol.16, pp. 226 - 230.  
 Phillips, O. M. (1969): The Dynamics of the Upper Ocean, Cambridge Univ. Press, 261 p.  
 Whitham, G. B. (1967a): Nonlinear water waves, J. Fluid Mech., Vol.27, pp. 399 - 412.  
 Whitham, G. B. (1967b): Variational methods and applications to water waves, Proc. Roy. Soc., Ser. A, Vol.299, pp. 6 - 25.

#### < 参考文献の本文中での引用 >

本文中で文献を引用するときは，引用する箇所に著者名と文献刊行年を明示して下さい。このとき文献刊行年はカッコ書きとします。参考文献や引用文献には番号をつけないで下さい。

著者名は姓のみとし，著者が複数の場合には著者名

間に「・」を挿入してください。著者が 3 名以上の場合は最初の著者名の後に「ら」または「他」をつけて共著者名を省略して下さい。また欧文論文の場合にも and や et al. は使わず，「・」や「ら」を使ってください。

例：Bijker・Kalkwijk・Pieters (1974)

→ Bijker ら(1974)

同一著者による同じ年の複数の論文を引用する場合には刊行年の後に a, b, c, ... のアルファベットをつけて，文献の相違を明示して下さい。

例：Whitham (1967a), Whitham (1967b)

同一著者の複数の論文を同時に引用する場合には，カンマで刊行年を区別して下さい。

例：Phillips の研究 (1958, 1969)

著者名をカッコ付きで引用する際は，2 重カッコにはせず，「，」（カンマ）で区切って文献刊行年を記して下さい。また複数の著者を引用する場合は「;」（セミコロン）でつないで下さい。

例：... などの研究例が多く，かなりの成果が蓄積されている (Whitham, 1967a; Phillips, 1969).

#### 本文中での引用例：

"波による質量輸送を考慮した Phillips (1969) や Bijker ら (1974) の研究によれば，..."

"堀口・中道 (1976) は多孔壁により高次の周波数成分を生じることを明らかにした。"

"... についての Smith・Meyer (1958a, 1958b) の研究によれば，風波のスペクトルは ..."

"... といった研究を行ってきた (田中ら, 1998, 2001a, 2001b). "

#### < 単位表示 >

単位表示は，土木学会の規定により SI 単位系を用いて下さい。

SI 単位系以外の単位系を用いる場合には，カッコ書きで併記して下さい。

例： 単位体積重量 9.8 kN/m<sup>3</sup> (1 tf/m<sup>3</sup>)  
 応力 0.098 MPa (1 kgf/cm<sup>2</sup>)

例年，次に示す表記の誤りが頻繁に見られるのでご注意願います。

時間 (誤) hrs. → (正) h  
秒 (誤) sec → (正) s

---

---

## 提出について

---

### < 提出期限と提出先 >

原稿提出期日：

平成 16 年 5 月 20 日(木) 17:00 (必着)

提出先：

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地  
(社)土木学会 海岸工学委員会  
(担当：磯崎ひろ子)  
Tel : 03-3355-3559, Fax : 03-5379-0125  
Email : isozaki@jsce.or.jp

原稿提出期日を厳守し，期限までに必ずご提出下さい。郵送の場合は「簡易書留」で送付下さい。宅配便，持参など，郵便以外の方法でも受け付けます。

なお，期限までに提出されない場合は，受理ならびに第 2 次審査を致しませんのでご了承下さい。

---

### < 提出物について >

原稿，図，表，写真などを提出の際には「原稿提出明細書」に必要事項を記入し，原稿や図，表，写真などと合わせて提出して下さい。

---

原稿執筆要項に従って作成し，表，図，写真などをレイアウトした原稿 1 部 (A4 サイズ)，原稿のコピー 2 部 (A4 サイズ)，原稿の 87%縮小コピー (B5 サイズ) 1 部を提出して頂きます。コピー計 3 部は第 2 次査読に用います。

---

原稿受付整理の迅速化のために，次の点にご協力下さい：

- ・ 原稿とそのコピーは全て左上部をホッチキスで止める
  - ・ 原稿とそのコピーの左上部に「整理番号」(採択通知に記載)を記入する
-

表, 図, 写真の原版とそのコピー1部を提出頂きます。表, 図, 写真はそれぞれ A4 用紙に作成あるいは添付してください。すべてに, 「論文受付番号 (採択通知に記載), 論文名 (略記可), 著者名 (略記可), 縮尺」を明記して下さい。

---

原稿文書データをフロッピーディスク (FD) または CD-R で提出して頂きます。複数の論文を提出する場合でも FD や CD-R はそれぞれの論文ごとに1つづつご用意ください。詳細については「FD 等の提出と内容」の項を参照下さい。

---

複数の原稿をまとめて送付いただく場合は, それぞれの論文ごとに原稿や図・表, FD などを1つの封筒に入れ, その封筒のおもてに整理番号 (採択通知に記載) を大きく書いたのち, さらにそれらを大きい封筒にまとめて送付願います。

---

#### < フロッピーディスク (FD) 等の提出と内容 >

原稿の文書データ (アスキー形式) を 3.5 インチのフロッピーディスク (FD) または CD-R にて提出して頂きます。

提出する FD のラベルまたは CD-R のおもてに, 整理番号 (採択通知に記載した番号), 論文名 (略記可), 文書データのファイル名, OS 名を必ず明記してください。

---

原稿, 表・図・写真の番号・説明文の文書データをアスキー形式 (テキスト形式) で FD または CD-R に保存して下さい。

ファイル名は「(論文番号, 3ケタ) .txt」として下さい。たとえば, 論文番号 23 番の場合, ファイル名は 023.txt です。

数字と欧文にはすべて半角文字を使って下さい。

句読点は, 全角ピリオド(.), 全角カンマ(,) を使って下さい。

脚注は, 本文ファイルの先頭に入れてください。

参考文献の「pp. 145 - 150」という場合の「-」は, 半角文字のハイフンを使って下さい。

改行または改行マークは段落の終わりのみに入力し, それ以外には入力しないでください。

---

---

## その他

---

### < 論文集著者負担金 別刷 >

海岸工学論文集の著者負担金は1編あたり30,000円(消費税込み)です。著者負担金は講演会終了後に請求致します。

海岸工学論文集に登載の論文の別刷を希望される方は、原稿を提出する際に「原稿提出明細書」にて事前にお申し込み下さい。別刷代金は講演会終了後、著者負担金とあわせて請求致します。

#### 《別刷代金》

50部— 8,000円

100部— 11,000円

200部— 15,000円

300部— 18,000円

---

### < 校正 >

第2次査読を通過した論文については、7月中旬頃に著者校正、8月下旬に委員会校正を行います。著者校正時には、第2次査読時に指摘された個所以外校正できませんのでご注意ください。また著者校正時の見落としによる誤り等については、委員会は責任を負いかねますのでご了承下さい。

---

### < 問い合わせ >

原稿の作成、提出などについて、不明な点、疑問の点がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

(社)土木学会 海岸工学委員会 (担当: 磯崎ひろ子)

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地

Tel: 03-3355-3559, Fax: 03-5379-0125

Email: [isozaki@jsce.or.jp](mailto:isozaki@jsce.or.jp)

---